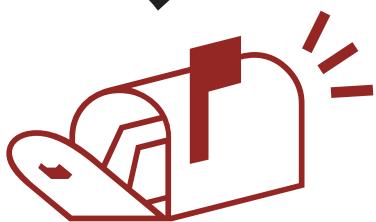


CO-Message

Ver 3.0

ユーザーへの情報提供を統合管理

連絡とれてますか？



**CO-Message は
利用者への情報伝達を確実に行います**

- 柔軟な条件指定ができるメッセージの表示と閲覧履歴の把握
- メンテナンスや授業などの時、該当する端末へのログインを制限
- メッセージはサーバーで一括管理、ブラウザで手軽に更新

※詳細は裏面をどうぞ。



CO-Message

Ver 3.0



柔軟な条件指定ができる
メッセージの表示と閲覧履歴の把握



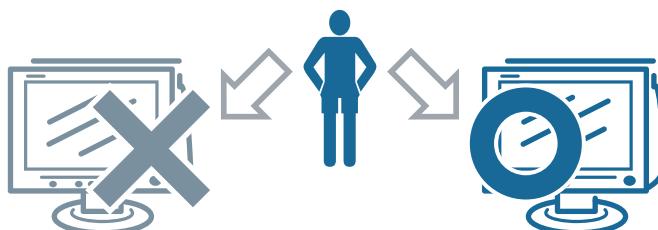
「この教室は毎週水曜日の 15:00 以降は使用禁止です」

「○○さん、今日中に事務室までおこしください」

といったメッセージをログオン画面やログイン時に表示することで、ユーザーに確実に情報を伝達します。メールでは読み飛ばされ、メッセージが確認されたかどうかわからないという不安がありますが、CO-Message を用いるとメッセージの確認履歴が分かるので安心です。

メッセージはユーザー毎や教室ごと、さらには時間帯により異なる内容にすることができます。メッセージを読まないとログオンできないようにも設定できるため、利用規約の確認やシステム保守情報といった重要な情報を、履歴を取りつつ確実に伝達します。

メンテナンスや授業などの時 該当する端末へのログインを制限



メンテナンスのために特定の部屋にある端末だけログオンを禁止したり、授業時間中に受講者以外はログインできないようにしたり等、部屋単位やグループ単位での利用制限を行えます。

また、単に利用禁止としてログオンを失敗させるのではなく、同時に利用禁止となっている理由もユーザーに通知できるため不必要的管理業務を増やすことはありません。

有限会社シー・オー・コンヴ

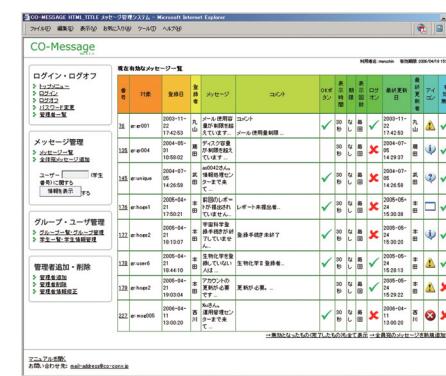
<http://www.co-conv.jp/>

E-mail:info@co-conv.jp

〒606-8225 京都市左京区田中門前町72 いのはらビル 2F
TEL:075-703-0740 FAX:075-703-0738

ユーザーへの情報提供を統合管理

メッセージはサーバーで一括管理
ブラウザで手軽に更新



メッセージは管理メニューで一覧でき、Web ブラウザを使用して更新します。メッセージを見やすく一覧表示するのはもちろん、多数の端末やユーザーを教室やグループごとに分類し、円滑な管理をサポートします。

また複数の管理者を設定し、それぞれが利用する機能に制限を設けることができます。

K 大学様 導入事例

事務手数料を期日までに納めなかったユーザーを利用停止にしています。利用を再開する場合、入金を確認した事務担当者が手続きを行います。管理者権限を持たない事務担当者でもこのような運用が出来ることで、管理者の手間を大きく削減し大変にスムーズな運用を実現しています。

システム要件

サーバー

- FreeBSD 6 ないしは RedHat Enterprise Linux 4
- PostgreSQL 8.1
- Apache 2.2
- PHP 5.1
- Perl 5.8

クライアント

- Windows 2000 (SP4 対応)
- Windows XP (SP2 対応)

管理用端末

- Internet Explore 6 ないしは Firefox 1.5

価格

詳細についてはお問い合わせ下さい。

アカデミックプライスを設定しております。

お問い合わせ先

